

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2002-254686(P2002-254686A)
 【公開日】平成14年9月11日(2002.9.11)
 【出願番号】特願2001-52940(P2001-52940)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/325 (2006.01)
 H 0 4 N 1/23 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/20 1 1 7 A
 H 0 4 N 1/23 1 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月27日(2008.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段、および、前記発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理装置であって、
 前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知する検知手段と、
前記検知した情報に応じた画像処理を、可視像を形成すべき画像情報に施す処理手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記検知手段は、前記カセットの表面に記録された情報に基づき、前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知することを特徴とする請求項1に記載された画像処理装置。

【請求項3】

さらに、複数のルックアップテーブル、マスキングマトリックスおよび/またはダイレクトマッピングテーブルが格納されたメモリを有し、
 前記処理手段は、前記検知された情報に応じて、前記ルックアップテーブル、マスキングマトリックスおよび/またはダイレクトマッピングテーブルを選択的に使用することを特徴とする請求項1または請求項2に記載された画像処理装置。

【請求項4】

複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段、および、前記発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理装置であって、
 画像入力デバイスと通信する通信手段と、
 前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知し、前記検知した情報を前記画像入力デバイスへ通知する検知手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項5】

複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理方法であって、
 前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知し、

前記検知した情報に応じた画像処理を、可視像を形成すべき画像情報に施すことを特徴とする画像処理方法。

【請求項6】

複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理方法であって、

前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知し、

前記検知した情報を画像入力デバイスへ通知することを特徴とする画像処理方法。

【請求項7】

画像処理装置を制御して、請求項5または請求項6に記載された画像処理を実行することを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項8】

請求項7に記載されたコンピュータプログラムが記録されたことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明にかかる画像処理装置は、

複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段、および、前記発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理装置であって、前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知する検知手段と、前記検知した情報に応じた画像処理を、可視像を形成すべき画像情報に施す処理手段とを有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段、および、前記発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理装置であって、画像入力デバイスと通信する通信手段と、前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知し、前記検知した情報を前記画像入力デバイスへ通知する検知手段とを有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明にかかる画像処理方法は、複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理方法であって、前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知し、前記検知した情報に応じた画像処理を、可視像を形成すべき画像情報に施すことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

また、複数の発熱素子がライン状に配置された発熱手段による加熱によって記録媒体に転写されるインクが塗布され、カセットに格納された転写媒体を用いて、記録媒体に可視像を形成する画像処理方法であって、前記転写媒体の種類または特性を示す情報を検知し、前記検知した情報を画像入力デバイスへ通知することを特徴とする。